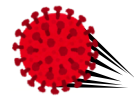




感染リスク、感染拡大リスクを下げるために関係者が遵守すべき基準
関係者に感染者が出た場合のチームおよび主催者としての適切な対処方法



<会場について>

1. 制限区域を設定し、大会関係者、選手と部外者（観客含む）間の接触をさせない。
2. 会場内の関係者はマスクの着用を徹底する。選手は気温・湿度やベンチの状況に応じてマスクの着脱を適切に判断する。
3. 練習会場は他のチーム同士が接触しないよう明確に区分する。
4. 移動の際には必要に応じて関係者毎の導線を分け接触させない。
5. 練習会場と試合会場を同一施設内にする。
6. 試合終了後は、迅速にベンチを空ける。担当者が消毒作業を終了次第、次チームがベンチ入りする。またその際、選手間の接触がないよう導線を一方通行とし接触させない。
7. 会場内の各所に消毒液を設置し、入退場の際に手指の消毒を推奨する。

<試合中の選手、監督、コーチ>

1. ベンチ内では、可能な限りソーシャルディスタンス（推奨2m、最低1m）を保つように配慮する。十分なスペースがない場合、試合には直接関与しない者のために代替スペースが割り当てられる。
2. 打ち合わせ（タイム）の際や審判に交代を申し出る際、または抗議する際は、常にソーシャルディスタンス（推奨2m、最低1m）を保つよう配慮する。
3. ベンチ内の飲水用コップ、タオル、ロジンバック、メガホン等は共用しない。
4. 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体接触を避ける。

レベル5
制限付き「大会」開催



「大会」会期1週間前から大会期間中健康チェックシートが報告義務

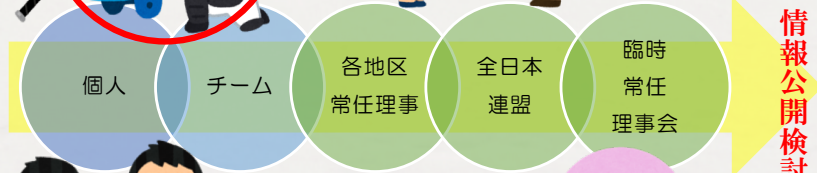
レベル4
「大会」実施時のチームの移動・宿泊



レベル3
練習、トレーニング、教育活動への対応



レベル2
組織内外における情報開示と共有



レベル1
一般的な感染予防対策、感染時の対応



<その他>

1. 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症の症状が出た場合は、速やかに大学連盟に報告する。大学連盟は、必要に応じて対応する。
2. 来賓、審判、記録員に対する対策、対応、対処は日本ソフトボール協会が作成する「JSA新型コロナウイルス感染症におけるソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」の最新版に従うものとする。



Google Play App Store

新型コロナウイルス接触確認アプリ